

ライティングマラソン2011の最終報告書が完成



2011年のライティングマラソンの最終報告が完成しました。全世界で活動する個人やチーム、支部からの報告をすべてまとめるのは大変な作業でしたが、アンケートに回答くださった皆さんのおかげで完成させることができました。ご協力ありがとうございました。

すべての結果をきちんと集計したところで、私たちは、この活動が本当に有意義なものであることを確認しました。私たちの活動は78カ国、1,376,962アクションにも及びます。その規模も、図書館に数人が集まって行う手紙書きから、首都の広場のスクリーンに良心の囚人の写真を大映しにして釈放を訴えるイベントまで、大小さまざまです。

ライティングマラソンやアムネスティの活動の結果、私たちは個々の事件にどんな影響を与えたのでしょうか？

まず、私たちが関わってきた事件のうち3件は、生命の危険があった個人の状況を実質に変えました。例えば、フェイスブックで政府を批判したために逮捕されたジャッパール・サヴァランさんは、このライティングマラソンやアムネスティの活動もきっかけとなって釈放されました。

また、11件の事件については、アムネスティの支援が非常に大きな精神的支えとなった、と良心の囚人本人やその代理人が述べています。前述のジャッパール・サヴァランさんは「アゼルバイジャンの自由のために闘ってくださったアムネスティをはじめとする団体に深く感謝します」と話しています。

ライティングマラソン2011に関する詳細については、次のURLの報告書（英文PDF）をご覧ください。

<http://www.amnesty.org/en/library/info/ACT30/038/2012>

この報告書が、2012年のライティングマラソン参加へのさらなる原動力になることを、私たちは願っています。

台湾の死刑囚、チョウ・ホシュンさんからの手紙

アムネスティでは2011年8月、邱和順（チョウ・ホシュン）さんについてのUAを発信しました。邱さんは不公正な裁判で死刑囚となり、20年以上も獄中の過酷な環境下におかれ、今も死刑執行の危機にあります。たくさんのアピール文が当局に送られましたが、複数のUA会員に4月上旬、邱さんからの感謝文が（財）民間司法改革基金を通じて届きました。以下、要旨をお伝えします。邱和順さんのUAはこちらです。

<http://www.amnesty.or.jp/modules/wfsection/article.php?articleid=4257>

友人の皆様

この数ヶ月の間、私は思いやりにあふれるたくさんの手紙を世界中から受け取りました。私は中国語しか分からず翻訳が必要だったために、お礼をお伝えするのが遅くなってしまったことをお詫びします。

24年前、私は事件の取り調べで拷問を受け、有罪とされ、今はこの命すら取り去られようとしています。しかしながら生きる屍の私は、神様に見守られてこの24年間を過ごしました。この間、私はわずか2㎡ばかりの独房に4年間も閉じ込められました。18年間、1日たりとも3キロの足枷を両足から外されたことはありませんでした。8700日を越える日々で、数々の苦難を経験し、数え切れないほど涙を流してきました。今後も険しい道のりが続くかもしれません。しかし、私はこれからも神様と共にたえず歩み続けます。

この数ヶ月、皆さんからたくさんのご支援の手紙を頂きとても感謝しています。ありがとうございました。皆さんのあたたかい言葉は私に力を与えてくれました。皆さんに神のご加護がありますように。どうぞお元気で。

邱和順

ヨドク収容所の即時閉鎖に向けたアクション

2011年5月、アムネスティは朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)のヨドク政治囚収容所に関するキャンペーンを開始しました。この収容所では政治囚の人びとに対して著しい人権侵害が行われており、キャンペーンでは収容所の即時閉鎖を求めています。

全世界のアムネスティのメンバーは、北朝鮮当局に対して嘆願書やアピールを送り、ヨドク収容所をはじめとする国内の複数の政治囚収容所の即時閉鎖を訴えました。このキャンペーンで集められた16万5千を超える手紙や署名は、4月15日の金日成生誕100周年に合わせて、4月12日にスイスの北朝鮮大使館を通じて当局に提出されました。「太陽節」とも呼ばれるこの日は、「強盛国家」を目指す北朝鮮にとっての節目の日でもあり、世界のメディアが北朝鮮に注目しました。

釈放されたエジプト人ブロガーがスイスを訪問



良心の囚人であり、先日釈放されたエジプト人ブロガーのマイケル・ナビル・サナドさんが、3月にアムネスティのスイス支部を訪れました。

マイケルさんは2011年3月28日に首都カイロの自宅で逮捕され、2011年4月10日、軍事裁判所において懲役3年の刑を求刑されました。罪状は、タハリール広場でのエジプト軍の抗議者に対する軍事行動への批判と、兵役拒否でした。マイケルさんは8月に、ハンガーストライキを行った後、体調が急変しました。しかし、エジプト当局はマイケルさんへの投薬を拒否し、公判中も治療のための一時的な釈放を認めませんでした。そして12月には、再審によって懲役2年の刑が言い渡されました。

さらに2012年1月21日には、エジプト軍最高評議会

(SCAF)が、軍事裁判で有罪となったマイケルさんを含む2000名の囚人に対する恩赦を発表しました。8月にはSCAFがエジプト国内で死刑判決を受けた少なくとも13名を含む約1万2000名の市民が、著しく不当な形で軍事裁判にかけられていたことを認めました。

マイケルさんは、彼を支援し、たくさんのメッセージを送ることで彼を勇気づけたアムネスティに対して、深い感謝の意を伝えてくれました。

明るいニュース

エジプト

アムル・アブダラ・アル・ベヘリさんが釈放されました。アムルさんは懲役5年の刑が確定していましたが、軍事裁判所の再審で懲役6ヵ月と罰金50エジプトポンド(およそ700円)に減刑されました。2月27日に釈放された時には、アムルさんの拘束期間はすでに1年近くに及んでいました。

イラン



アリー・エグダム・ドウストさんが、今年はじめに釈放されました。アリーさんは2006年に差別撤廃を求めて平和的なデモに参加したために懲役3年の刑を受けていました。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本